

自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業

報 告 書

国立赤城青少年交流の家では、11月1日（土）～11月3日（月）の2泊3日の日程で、教育事業「自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業」を開催しました。この事業は、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を育成するものです。参加者は、小学校教諭、国公立青少年教育施設職員、地域のNPOなどの体験活動実施団体33名が参加しました。

初めに、主任講師からNEALリーダー講習が、「自然体験活動の指導を初めて行う人」を対象としていることが確認されました。また、講習終了時には全員がNEALリーダーとして指導できる知識とスキルを身に付けられることが説明されました。さらに、1日目から3日目までの設定されたねらいを確認することで、3日間の見通しを持って講習がスタートしました。

一日の実習の最後には、受講者同士のふりかえりを行いそれぞれの立場から意見を交換していくことで、「新しい発見やものの見方に気づいた」、「得るものの多い研修となった」等の感想が聞かれました。

【1日目】ねらい：自然体験活動のそもそもについて理解する日

「青少年教育における体験活動」と「対象者理解」について学びました。自然体験活動が青少年にどのような影響をあたえるのか。また、指導者として関わる上で青少年たちのことをより良く理解するための内容を学びました。夜には情報交換会（夕食を兼ねる）があり、受講生同士の有意義な学びあいの場となりました。



自分の人生を振り返り
体験活動の必要性を学びます



事例を基に対象者理解を深める話し合い

【2日目】ねらい：自然体験活動（主に技術）の基本を理解する日

「自然体験活動の特質」では、大切な自然に目を向けること、よく観察することを実際のプログラムを通して学びました。「自然体験活動の技術」では、火と刃物の安全な指導の仕方について体験を通して学びました。



自然の中でいろいろな色を探します



ご飯の炊け具合を耳で確認

【3日目】

ねらい：自然体験活動の全容を理解し、これからの指導者としての一歩を踏み出す日

「自然体験活動の安全管理」では、実際の映像や事故予防・事故対応のエクササイズをして安全管理の大切さについて学びました。また講習の最後には、3日間を通してふりかえる時間を設け、各自がNEALリーダーとしての決意を新たにしました。



事故対応の事例を話し合っ発表



最後に学んだことをシェアしました

実施後のアンケートでは、「それぞれの講義につながりがあり、分かりやすくよかった」「一つ一つにそれぞれの面白さがあり、要点もしぼってあったので分かりやすかった」「自然を愛し、自然を案内する活動をしたい」「まずは経験を少しずつでも積み重ねていきたい」等それぞれの経験や立場からの感想が聞かれた。また、メインの講義以外に「たくさんの交流の場があり、学習のふりかえりや意見交換に役立ち、参加者が主体となるようになっていた」とのご意見をいただきました。

(文責・新井)